



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月31日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社
コード番号 3104 URL <https://www.fujibo.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 雅偉
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐々木 辰也
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3665-7612

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	26,707	7.9	2,001	55.0	2,403	47.1	1,653	46.3
2023年3月期第3四半期	28,989	7.7	4,445	5.4	4,545	6.0	3,077	8.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,045百万円 (40.7%) 2023年3月期第3四半期 3,449百万円 (4.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	144.24	
2023年3月期第3四半期	268.48	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	61,051	43,399	71.1
2023年3月期	61,368	42,920	69.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 43,399百万円 2023年3月期 42,920百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		55.00		55.00	110.00
2024年3月期		55.00			
2024年3月期(予想)				55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,100	4.2	2,950	39.5	3,350	33.6	2,200	35.3	192.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	11,720,000 株	2023年3月期	11,720,000 株
2024年3月期3Q	336,445 株	2023年3月期	252,579 株
2024年3月期3Q	11,461,220 株	2023年3月期3Q	11,464,354 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会・経済活動の正常化が一段と進展した一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東地域の地政学的リスクの高まり、円安の進行に伴う物価上昇など先行きについては依然として不透明な状況となっております。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、中期経営計画『増強21-25』において、計画期間5年間の前半3年を「高収益体質への転換と種まき」ステージと位置づけ、各事業の成長基盤の増強に取り組んでおります。計画3年目となる当期については、事業の柱である研磨材事業は、半導体用途の需要が大幅に減少しており、世界的な半導体市場の縮小に底打ち感が見られるものの、本格的な需要回復には至らない状況で推移しました。化学工業品事業は、中国経済の低迷に加え、電子材料を中心とした市況悪化に直面し、厳しい環境となりました。生活衣料事業は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による行動制限の全面解除で店舗販売は改善傾向に向かっています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2,282百万円(7.9%)減収の26,707百万円、営業利益は2,443百万円(55.0%)減益の2,001百万円、経常利益は2,142百万円(47.1%)減益の2,403百万円となりました。これから特別損益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比1,424百万円(46.3%)減益の1,653百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、半導体デバイス用途(CMP)が、期前半では半導体市場の調整局面の影響を受け受注が減少しましたが、期後半に入り主要半導体メーカー各社の在庫調整が進み、徐々に需要回復の兆しがみられました。シリコンウエハー用途は全体的な半導体デバイスの需要減により受注減、ハードディスク用途はデータセンター向け需要の低迷が継続、液晶ガラス用途においても世界的なインフレにより、テレビ、パソコン、スマートフォンなどで使われる液晶パネルの需要の鈍化もあり受注が減少しました。一方、電気自動車(EV)をはじめとする車載向けやデータセンター向けに利用されるパワー半導体などの分野では、好調な需要が続いております。

この結果、売上高は前年同期比2,601百万円(21.6%)減収の9,438百万円となり、営業利益は2,117百万円(78.3%)減益の587百万円となりました。

②化学工業品事業

機能性材料、医薬中間体および農薬中間体などの受託製造は、化学業界全般的に需要が低迷する中、とりわけ半導体を中心とした電子材料市況の悪化により厳しい事業環境となっております。機能性材料は一部を除いて受注が低調でしたが、農薬中間体は好調な受注を維持しました。原材料・エネルギー価格高騰による製造コスト上昇部分については、価格転嫁を進めました。

この結果、売上高は前年同期比304百万円(3.4%)増収の9,367百万円となり、営業利益は299百万円(31.6%)減益の647百万円となりました。

③生活衣料事業

繊維素材は、物流費や原材料費の高騰によるコストアップに加えて、円安が影響し、厳しい環境が続きました。繊維製品は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い経済・社会活動の正常化が進んだことにより外出機会が増え、店頭販売を中心に需要が堅調に推移しました。また、ネット販売では継続的なSNS、検索広告に加え転換率・リピーター率向上施策が奏功し伸長しました。

この結果、売上高は前年同期比210百万円(3.7%)減収の5,402百万円となり、営業利益は10百万円(1.6%)増益の654百万円となりました。

④その他

化成品事業の成形品部門は、医療機器用部品の受注が堅調に推移し増収となりましたが、デジタルカメラ用成形品は半導体不足の影響を受け減収となりました。金型部門は、自動車向け金型は半導体不足及びEV化シフト過渡期の影響で新型案件が減少し苦戦しましたが、事務用機器や医療機器用金型に強みを持つ会社をグループに加えたことで増収となりました。貿易部門は、昨年のコロナ特需の反動で受注減となっていますが、更なる拡販と収益確保に取り組んでいます。

この結果、売上高は前年同期比224百万円(9.9%)増収の2,499百万円となり、営業利益は38百万円(25.5%)減益の111百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は前連結会計年度末に比べて317百万円減少の61,051百万円となりました。

流動資産は567百万円減少の22,435百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金やその他流動資産が増加しましたが、現金及び預金が減少したことなどによります。

固定資産は250百万円増加の38,615百万円となりました。これは、減価償却を実施したものの研磨材事業を中心とした設備投資により有形固定資産が増加したことに加え、保有株式の時価上昇により投資その他の資産が増加したことなどによります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて795百万円減少の17,652百万円となりました。

流動負債は1,040百万円減少の10,829百万円、固定負債は244百万円増加の6,823百万円となりました。これは、未払法人税等や設備関係支払手形などのその他流動負債が減少したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて478百万円増加し、43,399百万円となりました。これは、剰余金の配当を1,261百万円実施し、自己株式を313百万円取得したことなどによる減少がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加が1,653百万円あったことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、全体としては概ね予想通りに推移しているため、通期の業績予想につきましては2023年5月12日公表の数値から変更しておりません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,105	6,559
受取手形及び売掛金	8,002	8,349
商品及び製品	1,109	1,216
仕掛品	2,814	2,834
原材料及び貯蔵品	1,947	1,851
その他	1,030	1,630
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	23,003	22,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,091	10,950
機械装置及び運搬具（純額）	7,458	6,844
土地	13,852	13,882
その他（純額）	1,565	2,386
有形固定資産合計	33,968	34,064
無形固定資産		
のれん	1,142	1,037
その他	254	231
無形固定資産合計	1,397	1,269
投資その他の資産	3,000	3,281
固定資産合計	38,365	38,615
資産合計	61,368	61,051

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,087	3,889
電子記録債務	1,155	1,292
短期借入金	1,292	1,232
未払法人税等	709	257
引当金	727	385
その他	3,896	3,770
流動負債合計	11,869	10,829
固定負債		
長期借入金	26	210
退職給付に係る負債	4,276	4,153
資産除去債務	490	500
その他	1,784	1,959
固定負債合計	6,578	6,823
負債合計	18,448	17,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	2,206	2,213
利益剰余金	31,815	32,206
自己株式	△515	△828
株主資本合計	40,179	40,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	731	915
繰延ヘッジ損益	1	△2
土地再評価差額金	1,540	1,540
為替換算調整勘定	523	737
退職給付に係る調整累計額	△56	△58
その他の包括利益累計額合計	2,740	3,133
非支配株主持分	0	0
純資産合計	42,920	43,399
負債純資産合計	61,368	61,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	28,989	26,707
売上原価	19,044	18,885
売上総利益	9,945	7,822
販売費及び一般管理費	5,500	5,820
営業利益	4,445	2,001
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	56	66
固定資産賃貸料	263	232
補助金収入	—	200
その他	28	80
営業外収益合計	350	581
営業外費用		
支払利息	10	18
固定資産賃貸費用	58	63
その他	180	97
営業外費用合計	249	179
経常利益	4,545	2,403
特別利益		
固定資産売却益	2	14
投資有価証券売却益	—	128
特別利益合計	2	142
特別損失		
固定資産処分損	52	54
減損損失	0	6
その他	—	0
特別損失合計	52	61
税金等調整前四半期純利益	4,495	2,484
法人税、住民税及び事業税	1,240	660
法人税等調整額	176	170
法人税等合計	1,417	831
四半期純利益	3,077	1,653
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,077	1,653

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,077	1,653
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121	183
繰延ヘッジ損益	△7	△3
為替換算調整勘定	262	214
退職給付に係る調整額	△5	△1
その他の包括利益合計	371	392
四半期包括利益	3,449	2,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,449	2,045
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	12,039	9,062	5,613	26,715	2,274	28,989	—	28,989
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,039	9,062	5,613	26,715	2,274	28,989	—	28,989
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	3	3	—	3	△3	—
計	12,039	9,062	5,616	26,718	2,274	28,993	△3	28,989
セグメント利益	2,704	946	644	4,295	149	4,445	0	4,445

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業及び化成成品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、2022年11月1日付で㈱GFIホールディングスの全株式を取得し、同社及びその子会社を連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては911百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	9,438	9,367	5,402	24,208	2,499	26,707	—	26,707
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,438	9,367	5,402	24,208	2,499	26,707	—	26,707
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	—	0	△0	—
計	9,438	9,367	5,402	24,208	2,499	26,708	△0	26,707
セグメント利益	587	647	654	1,889	111	2,001	0	2,001

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業及び化成品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。